

# 令和3年 豆作り講習の開催について

(公財)日本豆類協会

(公財)日本豆類協会では、北海道における豆類の適正な作付面積の確保と栽培管理技術の高位平準化を通じ、需要に応じた良質豆類を安定的に生産するため、農林水産省、北海道庁、道内関係機関・団体の協力を得て、昭和41年から「豆作り講習会」を道内の産地で開催し、毎年、多くの生産者や農業関係者の方々に参加いただけてきました。

本年（令和3年）については、新型コロナウイルス感染防止の観点から、現地で受講者の方々を集めた講習会形式での開催を行わず、受講を希望される方に講習用テキストを配布するとともに、当協会ホームページからのWEBによる動画情報の配信により講習を実施しました。

例年、800名程度の方々に講習会へ参加いただけていますが、本年については、2,000名を超える方々から講習用テキストの申込みがありました。

動画による講習の内容については以下のとおりです。

習のテーマ	話題提供者
豆類をめぐる情勢	農林水産省政策統括官付穀物課豆類班
道産豆類への要望	全国和菓子協会 専務理事 藪 光生氏
道産豆類への要望	日本製餡協同組合連合会 理事長 内藤豊彦氏
豆類の計画生産について	ホクレン農業協同組合連合会農産部雑穀課
安定供給の継続で確かな需要拡大の実現へ！	北海道農協畑作・青果対策本部／ JA北海道中央会／ホクレン
小豆の品種選択について～小豆新品種「十育170号」の紹介～	(地独) 北海道立総合研究機構農業研究本部 十勝農試研究部豆類畑作グループ 長澤秀高氏
道内の豆類ほ場で目にする益虫	(地独) 北海道立総合研究機構農業研究本部 十勝農試研究部生産技術グループ 三宅規文氏
極遅まきと品種の使い分けで減らそう！金時の色流れ	(地独) 北海道立総合研究機構農業研究本部 十勝農試研究部生産技術グループ 小谷野茂和氏